

ふくい街角景気速報

(平成29年1月分)

調査期間 平成29年1月11日～25日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは47.8となり、前月と比べ2.7ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは48.1となり、前月と比べ1.4ポイント上昇した。

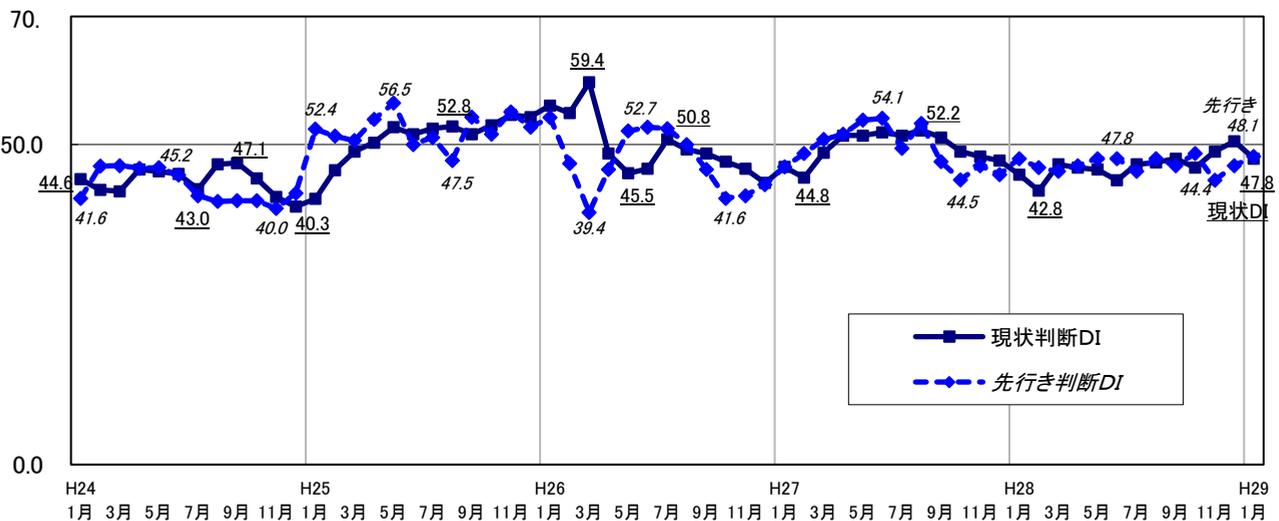
■景気の現状判断DI 47.8 (前月比 ▲2.7)

- 家計動向関連では、前月に比べ5.6ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ1.6ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ3.9ポイント上昇した。
- (意見の主な内容)
- 北陸新幹線開業効果の反動減のため、昨年と比べ売上が減少している。(ビジネスホテル)
- 昨年は第4四半期に改善傾向であったが、それ以降は横ばいが続いている。(一般機械製造業)

■景気の先行き判断DI 48.1 (前月比 +1.4)

- 家計動向関連では、前月に比べ2.2ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ0.2ポイント低下した。
- 雇用関連は、前月に比べ1.9ポイント上昇した。
- (意見の主な内容)
- 新生活の準備や、ギフトなどで動きが良くなり消費が上向くと思われる。(小売店)
- 燃料費の上昇が半年は続くものと思われ、利益計画の見直しを下方修正する必要が出てきている。(運輸業)

ふくい街角景気速報 判断DIの推移



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H28 8	9	10	11	12	H29 1	(前月差)
合計		47.2	47.8	46.4	48.9	50.5	47.8	▲2.7
家計動向関連		45.5	45.0	43.2	46.0	49.5	43.9	▲5.6
小売		40.8	40.6	39.2	45.7	49.2	43.3	▲5.9
飲食		75.0	75.0	62.5	50.0	33.3	41.7	+8.4
サービス		52.1	52.3	50.0	45.8	54.5	45.8	▲8.7
企業動向関連		47.7	49.2	50.0	52.3	50.8	49.2	▲1.6
製造業		46.6	46.6	46.7	53.3	50.0	46.6	▲3.4
非製造業		50.0	55.0	57.5	50.0	52.5	55.0	+2.5
雇用関連		51.9	53.8	48.1	50.0	53.8	57.7	+3.9

○回答別構成比

	年 月	H28 8	9	10	11	12	H29 1	(前月差)
良くなっている		1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなっている		14.6%	16.7%	10.0%	18.9%	21.7%	14.4%	▲7.3
変わらない		58.4%	58.9%	66.7%	58.9%	55.4%	56.7%	+1.3
やや悪くなっている		23.6%	23.3%	22.2%	21.1%	17.4%	25.6%	+8.2
悪くなっている		2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	3.3%	1.1%	▲2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H28 8	9	10	11	12	H29 1	(前月差)
合計		47.8	46.7	48.6	44.4	46.7	48.1	+1.4
家計動向関連		47.2	46.1	47.7	46.6	47.8	50.0	+2.2
小売		43.3	46.9	47.5	46.6	44.5	47.5	+3.0
飲食		75.0	25.0	37.5	33.3	50.0	58.3	+8.3
サービス		52.1	47.7	50.0	50.0	56.8	54.2	▲2.6
企業動向関連		48.4	46.9	50.8	42.4	43.2	43.0	▲0.2
製造業		47.7	45.5	48.9	40.2	41.3	40.9	▲0.4
非製造業		50.0	50.0	55.0	47.5	47.5	47.5	+0.0
雇用関連		48.1	48.1	46.2	42.3	51.9	53.8	+1.9

○回答別構成比

	年 月	H28 8	9	10	11	12	H29 1	(前月差)
良くなる		0.0%	1.1%	2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなる		14.6%	11.1%	14.4%	13.3%	17.4%	15.6%	▲1.8
変わらない		64.0%	64.4%	62.2%	50.0%	53.3%	58.9%	+5.6
やや悪くなる		19.1%	20.0%	17.8%	33.3%	23.9%	23.3%	▲0.6
悪くなる		2.2%	3.3%	3.3%	2.2%	4.3%	1.1%	▲3.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	福井	観光物産店	年末年始繁忙期を迎え、売上は好調であった。既存店は例年同様ではあるが、本年度はハピリンに3店舗増えたことにより売上も伸びた。
	企業 動向	福井	不動産・建設	年明け繁忙期に入っており、例年に比べ顧客動向も順調である。
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	百貨店、ショッピングセンター	最大の年末商戦は暖冬により苦戦するも、クリスマスの曜日廻りの好条件により売上は上振りであった。年始は客足が良好で冬物の需要が拡大した。
		坂井	レストラン	雪が少ないおかげで客足が例年より伸びている。
		福井	スポーツクラブ	会員数は増加しつつある。
	企業 動向	丹南	繊維	受注は好調であるが、企業間の格差は大きくなっている。
		福井	眼鏡	先月（12月）は昨年よりも悪い状況にあったが、今月（1月）は昨年よりも良い状況にある。
		福井	一般機械	前年同時期と比べると受注量は約8%増加しており、3ヶ月前と比べても約9%増加している。
		福井	化学・プラスチック	受注はやや増加しており、株価なども上昇傾向にある。
	雇用	福井	IT関連	前年同期と比較した受注実績が増加している。
丹南		労働相談員	年末年始の相談が少なく、やや良くなっているように感じる。	
③変わらない	家計 動向	福井	小売店	消費者節約志向は変わらず、購入には慎重である。
		嶺南	大型小売店	正月は前年並みの売り上げであった。
		福井	自動車販売・整備	新型車効果は若干あったものの、前年を大きく上回る売上にはつながらなかった。
		坂井	観光・レジャー施設	12月は今冬に向けて新たなイベントの開催や新しい施設をオープンさせたことと、例年同様、過ごしやすい天候も相まってお客様の反応も良く、入場数は増加し、売上も上昇傾向にある。
	企業 動向	奥越	繊維	受注の確保に苦勞する状況が続いている。
		福井	一般機械	昨年は第4四半期に改善傾向であったが、それ以降は横ばいが続いている。
		坂井	IT関連	受注額の増減がなく変わらない。
		福井	不動産	年末年始を挟み大型消費となる住宅関連分野の動きは鈍い。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	婦人服での個人消費は益々厳しさが増している。買上げ客数、客単価共に下落傾向が止まらない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	年末年始は集客があったものの売上は厳しい状況であった。
		奥越	土産品等販売店	冬期の為、観光客が激減した。
		坂井	旅館	利用者が減ってきている。
		福井	ビジネスホテル	北陸新幹線開業効果の反動減のため昨年と比べ売上が減少している。
	企業 動向	丹南	眼鏡	国内はデフレが継続し需要が伸びない為、価格が上がっていない。産地メーカーは複雑な作りの生産が増えており、発注から納品までにかかる時間が伸びている。
		奥越	電気機械	受注が減少している。
		丹南	鉄鋼	1月の売上が減少する見込みである。
		福井	石油関連製品販売	原油高、円安のため石油製品価格連続して値上げしており、特に産業用となる重油、軽油、灯油の値上げが大きい。
		丹南	建設業	閑散期に入り、売上が減少するため。
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	レストラン	行楽シーズンから冬へと移行し、積雪で客足が減っている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	企業 動向	嶺南	レストラン	冬から春へと移行し、客足が回復する見込みである。
②やや良くなる	家計 動向	福井	小売店	新生活の準備やギフトなどで動きが良くなり、消費が上向くと思われる。
		福井	スーパー	一部の野菜価格の高騰も落ち着きつつあるため。
		坂井	観光物産店	3月には年度末を迎えるので今後2～3ヵ月の売り上げを伸ばしたい。希望をこめて。
		福井	自動車販売・整備	自動車業界にとって1～3月は最大需要期であるため季節要因で売上は延びるものと期待している。
		福井	ビジネスホテル	春のお花見のシーズンとなるので、今よりは必然的に良くなるが、昨春開業したホテルなど新しい施設もいくつかできているので引き続き注視が必要である。
		福井	旅行代理店	トランプ政権の政策に期待。
	企業 動向	福井	一般機械	政治的な混乱が無ければ、設備投資需要は堅調に回復するものと思われる。
		奥越	電気機械	受注が戻り始める予想。
		福井	不動産	年度末を迎え人事異動が発生する時期となることから、賃貸住宅、分譲住宅共に若干の繁忙期となるであろう。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	新春初売りは、低単価な菓子類の福袋が好調であったが、曜日廻りも影響してか短期で終了する結果となった。今後好転するような気配は感じられない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	現状維持も保つことが精一杯となるような状況である。
		福井	小売店	景気の先行きが不透明であるので判断できない。
		福井	スポーツクラブ	回復基調にあるものの、米国の影響で景気が安定しないのではないかとと思う。
		嶺南	旅館	政治情勢も不透明であり、株価も乱高下する見込みのため、あまり良くなる予想は立てられない。
	企業 動向	奥越	繊維	円安傾向と消費動向の変化に期待がかかるものの、車関連の資材用途以外の動きが悪く、受注については力強さに欠ける。
		福井	一般機械	先月11月の受注量をピークに今後2～3ヶ月先は現在とほぼ変わらない見通し。来年度は不透明。
		福井	化学・プラスチック	顧客先の受注動向に変化はない。
		嶺南	食品	新幹線の小浜ルート決定という明るい話題はあるが実現はまだまだ先。原発再稼動についても不確定要素が多く、地域的にはすぐに状況が変わりそうにない。
		丹南	建設業	アメリカの動向を様子見すると停滞しそうである。
		福井	運輸	アメリカの大統領交代等の海外要因がどのように影響するのか分からない。その他大きな要因が見当たらない。
	雇用	嶺南	労働相談員	嶺南地方の景気状況は、高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉措置の決定により、それに対するこれからの動きが今後の景気にも大きく左右すると判断する。
	④やや悪くなる	家計 動向	坂井	スーパー
福井			観光物産店	今後、春休みやGWの行楽需要に繋げていきたい。
坂井			レストラン	2月からは雪次第で客足の状況は変わってくる。
企業 動向		丹南	繊維	国際情勢（特にアメリカ）の不透明感が大きい。
		丹南	眼鏡	デフレが止まらず、今後円高傾向へと推移すると思われる。
		丹南	電気機械	需要の減少が継続することに加え、製品価格の下落などの減益要因が進んでいる。
		嶺南	コンクリート製品	補正予算が思ったほどつかず、年度末までの受注が少ない見込み。
		福井	運輸	燃料費の上昇が半年は続くものと思われ、利益計画の見直しを下方修正する必要が出てきている。
⑤悪くなる	家計 動向	奥越	土産品等販売店	景気が上昇する材料が見えない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)